



2020 年 10 月 1 日

報道関係各位

同志社女子大学広報部広報室広報課

現代社会学部 社会システム学科 講演会 人型ロボット Pepper を活用した課題解決 ：コロナ禍での活用の可能性を探る

同志社女子大学現代社会学部では、社会システム学科 1 年次必修科目「社会リサーチ入門※」において、ソフトバンク株式会社と連携し、「新入生が人型ロボット Pepper^{※1}を活用して創る未来のキャンパス」をテーマとした 10 月 2 日の第二回目の授業を実施いたします。

学生たちは、プログラミングの基礎を学んだ後、実際に“Pepper”を動かしながら、社会課題に対してどういったアプローチができるかを、各グループで議論しながら、最終的には課題解決の提案としてプレゼンテーションを行う予定です。

今回の授業では、ソフトバンク株式会社の CSR 統括部山口和代氏と、大学生起業家で、ロボットアプリケーション開発等を行う X-mov Japan 株式会社代表の長安成暉氏を講師に招き、講演も実施します。

報道関係各社様には本学での取り組みについてご理解いただく機会として、取材のご案内を申し上げます。

日時・場所の詳細は下記のとおりです。

- 日 時：2020 年 10 月 2 日（金）13：15～14：45（1 回目）15：00～16：30（2 回目）
場 所：京田辺キャンパス 新島記念講堂
内 容：①ソフトバンクの CSR 紹介（ソフトバンク株式会社 CSR 本部山口和代氏）
②Pepper による自己紹介＆自分が出来る事の紹介＋デモンストレーション^{※2}
③X-mov Japan 株式会社代表 長安成暉氏のお話
④学生からの意見・質疑応答

※1 Pepper はソフトバンクロボティクス株式会社の商標および登録商標です。

※2 ソフトバンクロボティクスの Pepper を活用し、本学が独自に実施しています。

※「社会リサーチ入門」

1 年次生 300 名が 2 クラスに分かれて受講。プロジェクトを通して必要となる社会的事業に関する関心を育て、論理的思考力や、相互意見交流や発信をとおして、PBL に関する基本的な見方や考え方を身につける。2018 年度は、キャノン株式会社、2019 年度は株式会社ワコールホールディングスと連携した課題解決に取り組みました。2020 年度が 3 回目となります。この科目には、上級生 6 名が、スチューデント・アシスタントとして授業をサポートします。

主催・問合せ：現代社会学部事務室 TEL：0774-65-8543

開催地：京田辺キャンパス
新島記念講堂

同志社女子大学広報部広報室広報課／広報課長 渡邊一郎

電 話 0774-65-8631

FAX 0774-65-8632

e-mail: koho-t@dwc.doshisha.ac.jp